

**2018(平成 30)年度  
春季キリスト教フォーカス・ウィークの講師について**  
期間：2018年5月29日(火)～5月31日(木)

**近藤 紘子 (こんどう・こうこ) 氏**

広島原爆の語り部・国際養子縁組活動家

5月29日(火) テーマ：「平和」

(略 歴)

1944年広島市生まれ。生後8カ月で爆心地から1.1キロの地点で被爆。原爆を投下した軍機エノラ・ゲイ号の副操縦士との出会いやアメリカへの留学経験を通じて、被害者意識を超えた日米の架け橋となる平和運動を展開してきた。世界的名著ジョン・ハーシーの『ヒロシマ』にも登場する「原爆乙女の治療運動」や「精神的養子縁組」を手がけた牧師であった父・谷本清の活動を受け継ぎ、ヒロシマの語り部として世界中で講演活動を行い、子どもの平和運動や、国際養子縁組の活動にも関わる。米国 Webster University と Centenary College から名誉博士号を授与されている。テレビ・ラジオ出演、新聞等への寄稿多数。

(著書・随筆・エッセイ)

- ・「戦争 生い立ちの中で『平和を求めるものの重荷』 (『婦人之友』 1983年8月号)
- ・「かがやく地球儀 ～子供平和使節団のおくりもの」 (『婦人之友』 1988年2月号)
- ・「親の背中・谷本清」 (『信徒の友』 2009年8月号)
- ・『ヒロシマ 60年の記憶』 (徳間文庫 2009年)
- ・「憎しみを超えて 広島の被爆体験から」 (『百万人の福音』 2015年8月号)

**片岡 輝美 (かたおか・てるみ) 氏**

会津放射能情報センター代表・子ども脱被ばく裁判共同代表

5月30日(水)・31日(木) テーマ：「何が主に喜ばれるのかを吟味しなさい。」

(略 歴)

1961年福島県生まれ。1985年、夫・片岡謁也の若松栄町教会牧師着任に伴い故郷へ帰り、息子4人を育てる。2005年、九条の会・西栄町学習会を結成。「自分のことばで平和を語る」をモットーに月例学習会やピースウォーク、講演会などを企画。2011年3月東日本大震災による東京電力福島第一原子力発電所事故が起き、同月15日から2週間、義弟宅(三重県鈴鹿市)に四男、妹親子と避難。会津若松市に戻り、同九条の会メンバーを中心に同年7月に「会津放射能情報センター」を設立し代表となる。2014年8月に提訴された子ども脱被ばく裁判の会・共同代表となる。

(著 書)

- ・「原発とキリスト教」(新教出版社 2011年10月)
- ・「今、いのちを守る」(日本基督教団出版局 2012年8月)
- ・「わたしたちのこえをのこします」(ロシナンテ社 2013年7月)
- ・「クリスチャンとして『憲法』を考える」(21世紀ブックレット)  
(いのちのことば社 2014年2月)

＜総務部キリスト教活動支援課＞